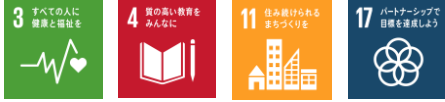


# 企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要



動物愛護



子どもへの支援

## ○「人と動物が共生するくまもと」の実現

### 「命を大切にし、やさしさあふれる人と動物が共生するくまもと」の実現

熊本県動物愛護推進計画に基づき、以下の取組みを推進し、「人と動物が共生するくまもと」の実現を目指します！さらに、令和6年3月に開所した新たな動物愛護センター「アニマルフレンズ熊本」を拠点として、取組みの強化・加速化を図ります！

#### ① 飼い主における適正飼養・終生飼養の推進

(適正・終生飼養の啓発、マイクロチップ装着の推進等)

#### ② 県民に対する動物愛護等の啓発強化

(愛護精神の涵養、飼い主のいない猫への対応等)

#### ③ 保護動物の返還・譲渡の推進

(譲渡機会の充実・周知、保護動物の訓練等)

#### ④ 保護動物の適正管理の徹底

(新たな動物愛護センターを拠点とした動物愛護の推進等)



新動物愛護センター



動物愛護教室

## ○放課後児童クラブへの支援

### 児童健全育成事業 放課後児童クラブ利用サポート事業 放課後児童クラブ施設整備事業

(事業説明)

放課後児童クラブは、共働き家庭等の児童の安全・安心な居場所であり、放課後に適切な遊び、生活を与えることで子どもの健全な育成を図るものです。

近年、共働き世帯の増加により、放課後児童クラブのニーズは高まっています。

放課後児童クラブの運営経費、施設を整備するための経費を支援するとともに、利用料が負担となり、児童がクラブ利用を控えることがないように、放課後児童クラブの利用料を支援することで、子育てしやすい環境づくりを行います。



子どもへの支援



子どもへの支援

## ○ひとり親家庭の医療費負担を軽減

### ひとり親家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭等における父又は母及び児童の健康を保持し、生活の安定を支援する目的で、以下の対象者に係る医療費の一部を補助する市町村（熊本市を除く）に対し、県がその費用の1/2を助成する制度です。

- ・ひとり親家庭の父又は母
- ・ひとり親家庭の父又は母が扶養している児童
- ・父母と死別した児童
- ・父母の生死が明らかでない児童
- ・父母から遺棄されている児童

**新型コロナウイルス感染症の影響で、子育てに対する負担の増加や収入の減少等が生じているひとり親世帯の子育てを応援する取組みです。**

## ○子ども食堂支援で子どもたちを笑顔に

### 子ども食堂等応援事業

県内各地に設置されている子ども食堂の運営をサポートするため、子ども食堂の相談窓口となるコーディネーターを配置し、食堂と支援者とのマッチングや運営サポート等を行うなど、子ども食堂の自主的な運営体制を支援することで、健全な子どもの育成及び地域全体で子どもを育てていく環境の整備を図ります。

<子ども食堂への各種サポート>

- ・経験豊富な食堂運営者をアドバイザーとして派遣
- ・子ども食堂と支援者とのマッチング
- ・子ども食堂への寄附を受け入れる際の運搬支援
- ・子ども食堂運営者向け講習会や連携会議の企画・主催
- ・子ども食堂に対する各種情報提供



子ども食堂



講習会

# 企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

こどもへの支援

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と地域資源の連携をつくらう

こどもへの支援

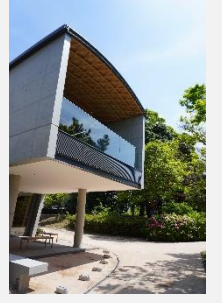
## ○「こども図書館」プロジェクト

### 未来を担う子どもたちへ贈る「こども図書館」プロジェクト

「こども本の森 熊本」は、建築家の安藤忠雄氏から熊本県に寄贈いただいた施設です。「これからの社会を支えていく子どもたちに、幼い頃から多くの本と出会い、豊かな感性や創造力を育んでもらいたい」「一人でも多くの子どもたちに、読書の楽しさを味わってもらい、みずから考える力を身につけて、熊本から、元気に明日の世界に飛び出して行ってほしい」という思いが込められています。

新たな熊本の宝として未永く県民の皆様へ愛される施設にするため、県民参加型で運営することとしています。

令和6年4月8日開館。床から天井まで壁一面本棚で埋め尽くされ、熊本県産木材の格子天井で包まれた空間が特徴です。



自然豊かな水前寺江津湖公園内(県立図書館横)に完成した「こども本の森 熊本」

## ○専門学科で学ぶ高校生への支援

### 産業教育設備整備費事業

県立高校で工業・農業・商業・水産・家庭・福祉を学ぶ生徒たちが、授業において実験や実習を行う設備を整えます。DX化など産業界の技術革新に対応できる環境を整え、熊本の未来を担う産業人材の育成を図ります。

【例】

- ①工業高校の実習室に新しい機械を導入し、生徒たちのものづくりをおとした課題解決能力を育む教育を実践します。
- ②農業高校で大型トラクター等を導入し、最新機材を活用できる人材を育てます。
- ③商業科の授業で使用するパソコンを導入し、電子商取引やプログラミングについて学習します。
- ④調理室を整備し、高校生が地域に笑顔を届ける食をプロデュースします。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

カーボンニュートラル

4 質の高い教育をみんなに

文化の保全・継承

## ○カーボンニュートラルを実現する取組み

### 熊本の再生可能エネルギー導入促進に向けたプロジェクト

再生可能エネルギーの積極的な導入により、カーボンニュートラルと県経済の発展に貢献していきます！

再エネ100宣言

とRE Action

再エネ100宣言 RE Action ロゴ

【RE100アクション】

- ① 県内中小企業等の再エネ導入促進  
グローバル企業が「RE100」を宣言する中、県内中小企業等が再エネ100%で企業活動を行うREアクションの取組みを促進することにより、企業価値の向上につなげます。
- ② 再エネ施設の適地誘導  
自然環境・景観・防災に配慮した「地域共生型」再エネ施設の導入推進に向けて、陸上風力と太陽光の立地ゾーニングに取り組めます。



【ゾーニングマップ案】

## ○熊本の宝を後世へ

### 細川コレクション永青文庫推進事業

熊本県立美術館には、東京・目白台にある美術館・永青文庫が所蔵する熊本藩細川家ゆかりの美術工芸品や歴史資料等の一部が収蔵されています。細川コレクション永青文庫推進事業は、それらの美術工芸品の調査・研究や修復を行い、熊本の貴重な宝を公開展示することで、県の文化・観光の振興や郷土を理解し、郷土を愛する心を醸成することを目的としています。美術館では、経年劣化が進んでいる美術工芸品を修復し、熊本の貴重な宝を後世に伝えるとともに、皆様に広くご覧いただく機会を創出していきます。

【修復予定作品 一例】

桐九曜紋唐草蒔絵鞍、鎧(桃山時代) 永青文庫蔵、熊本県立美術館寄託品

横山大観作「雲去来」(1917年) 熊本県立美術館蔵

# 企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要

8 働きがいも経済成長も

17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 地方創生推進プロジェクト

### ○国際スポーツ大会を活用した交流人口拡大

国際バドミントン大会を活用した国内外の交流人口拡大、“バドミントン王国 熊本”の知名度アップ及びブランド価値の向上プロジェクト

世界トップクラスの選手が参加する国際バドミントン大会「熊本マスタースジャパン」が、令和5年から4年間、毎年11月に熊本で開催されます。競技人口が多く、世界ランク上位の選手も多数輩出している本県で、大人気スポーツであるバドミントンの国際大会を開催することにより、国内外からの多くの誘客を目指します。また、国内外の一流選手が参加する大会を4年間継続して開催することで、バドミントン王国 熊本の知名度アップとブランド価値向上にも取り組みます。



大会PRキャラクター

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

14 海の豊かさを守ろう

### ○稼げる農林水産業の実現

熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト

農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組みます。また、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築を推進するとともに、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組みます。

稼げる農林水産業を実現し、「日本の食料安全保障の一翼を担うまもと」の実現と地域活性化を目指します。

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

### ○地域資源のリブランディングとインバウンド強化

地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト

(事業説明)  
コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者が一丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進します。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、TSMC（台湾）の熊本進出を受け、本県の最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図ります。



さかなKen「みなまた・あしたきょきょ大使」就任式  
台湾からの訪日教育旅行の誘致強化

4 質の高い教育をみんなに

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

### ○シリコンアイランド九州の復活へ

シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト

国内初となる台湾の世界的半導体メーカーTSMCの新工場建設というビッグチャンスを生かし、次の事業に取り組むことで、シリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献していきます！

**半導体関連産業等の将来を担う人材の育成**  
(産学官の連携促進、若年層の半導体への理解促進)

※以下のプロジェクトについては、別途資料を掲載しています。

[○県立高校魅力化きらめきプラン](#)    [○阿蘇草原再生・維持の取組み](#)  
[○「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト](#)